

もいおか

# 経営 (K・A) かなだる 通信

## 今年度第2回目の行政評価結果を公表～次年度重点的に取り組む施策を決定

効率的で効果的な市政の実現を目指すとともに、市政の透明性を高めるため取り組んできた行政評価について、このほど平成22年度第2回目の評価結果を公表しましたので、その概要をお知らせします。

### ■ 行政評価システムを活用した予算編成

市は、平成17年度当初予算から、行政評価を活用した「施策別予算配分方式」を導入し、予算編成を行っています。この方式は、

- ① 市総合計画に掲げる41の施策について、政策目標に対する貢献度と優先度の評価を実施
- ② 上の評価結果に基づいて、施策別に予算を配分
- ③ 各施策のなかの事務事業について優先度を評価し、施策に与えられた予算を事務事業へ配分  
という手順で予算額を決定するものです。

### ■ 施策の優先度評価

施策の優先度評価は、次年度に市が優先的に取り組むべき施策を決定するために行う評価で、各施策について、都市戦略課題（市長マニフェスト）との結びつきの強さ、市民アンケートに寄せられた市民期待度、施策の成果向上の余地、緊急度により評価を行いました。

優先度評価結果については、市の主要施設に備え付けているほか、ホームページにも掲載しています。

### ■ 平成23年度において重点的に取り組む施策

施策の優先度評価結果のほか、施策の成果実績、配分予算の状況、継続した取組みの必要性などについて総合的な検討を行い、平成23年度は、41の施策のうち、3つを予算重点配分施策とし優先的に予算を配分し重点的に成果向上を図る施策に、7つを主要施策とし成果の向上を図ることとしました。残りの31施策については一般施策とし、成果の維持・

向上を図ることとしました。

予算重点配分施策と主要施策は次のとおりです。

#### 【予算重点配分施策】

- 1 みんなで支える子育て支援の展開
- 2 地域資源を活かした観光・物産の振興
- 3 都市活動を支える交通環境の構築

#### 【主要施策】

- 1 将来を担う次世代の育成
- 2 活力ある農林業の振興
- 3 まちに活力を与える工業の振興
- 4 多様で活発な商業・サービス業の振興
- 5 安定した雇用の創出と良好な交通環境の促進
- 6 快適な居住環境の創出
- 7 市民とともに作る行政の実現



子育て支援の充実のため市内2ヶ所目となる「つどいの広場」を開設



ふるさと観光ボランティアが観光客に盛岡の魅力をPR!

私たち市民の声も反映させながら、評価をしているんだね!



詳しい評価結果は、盛岡市のホームページ”ウェブもいおか”>カテゴリー&メニュー>まちづくり>行政経営>盛岡市の自治体経営 でご覧いただけます。

# ワークショップ～「評価からはじめるまちづくり！2010」を開催しました

毎年恒例のワークショップ「評価からはじめるまちづくり」を去る11月11日および18日の2日間、市勤労福祉会館で開催しました。

市は、効率的で効果的な市政を実現するため、市のしごとの達成度を評価し、その結果を次の年度の予算編成や事業計画（まちづくり）に反映させる行政評価システムを導入していますが、このワークショップでは、行政評価の最も大事な部分ともいえる「成果指標（市のしごとの成果を測るものさし）」を、市民の皆さんと共に検討しました。

参加者は、1日目23人、2日目18人の延べ41名で、5つのグループに分かれ、最初に頭の柔軟体操を兼ねた自己紹介、行政評価に関するレクチャーを受けた後、「暮らしを支える制度の充実と自立支援」、「自然災害対策の推進」、「いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築」、「まちに活力を与える工業の振興」、「健全な財政運営の実現」の5施策について、熱心にグループワークを行いました。

「さで理解して欲しい。」など、活発な意見やユニークな発言が飛び交い、会場は参加者の熱気に包まれました。

グループワークが終わったあとはグループごとに代表者を決めて皆の前に出での発表。発表者は、多少緊張しながらも、自分達のグループの検討結果を堂々と発表しました。



＜H22. 11. 11 ワークショップでの発表の様子＞



＜H22. 11. 11 ワークショップの様子＞

「自然災害から守られるためには、個人レベルで災害知識を普及することや近所とコミュニケーションをとることなど、自助、共助の取組みが中心となるのではないか。」、「工業振興において産学官連携に取り組むなど市としての支援体制ができています。しかし、新たな事業の誕生が見えにくい。」、「市の年間予算の1000億円は一万円札で1000kg。重

市民目線ならではの貴重な意見が次々と出され、成果指標のアイデアは121件に及びました。これらについては今後、指標としての妥当性やデータが十分集められるかどうかなど、必要な検討を加え指標として取り込んでいきたいと思っています。

これまでのワークショップで出された成果指標のアイデアの採用状況は次のとおりです。

### 【これまでの成果指標の採用状況】

区分	提案されたアイデア数	採用された指標数
平成17年度	101件	8件
平成18年度	172件	17件
平成19年度	130件	11件
平成20年度	125件	5件
平成21年度	115件	7件

## ”出前K・Aかたる会”受付中！！

市は、市民の皆さんへの自治体経営指針のご説明と意見交換会を出前で行います。少人数でもうかがえます。お話を聞きになりたい方、意見交換をご希望の方は市役所行政経営課まで。

発

行

盛岡市市長公室行政経営課・

地域協働推進事務局

〒020-8530 盛岡市内丸12-2

TEL626-7553 keiei@city.morioka.iwate.jp